

# 平成27年度 三条市特別活動部 活動報告

部長 菊地 博之

## 1 研究主題 「特別活動における学級会の指導の在り方」

### 2 研究の概要

- 特別活動指導の基礎や学級会の指導の仕方などについて、講師から学ぶ。
- 講義内容を基に各自が実践研究に取り組む。

### 3 研究の実際

今年度は、部員の要望により、講師を招いて特別活動における指導の基礎について学ぶこととした。日程の関係により、全員での研修会が1回しか設定できなかったため、講演会をそれに当て、そこで習得したことを基に各自実践に取り組む形をとった。講師に見附市立見附第二小学校 校長 堀江 哲先生から講義をしていただいた。

#### (1) 講演会から

##### ① 特別活動における指導の基礎・基本

ア指導の四原則・・・自主性・集団性・実践性・現実性  
イ特活のキーポイント

・・・楽しく（あたかも自分たちでやり遂げたかのごとく、脚本・舞台は教師が設定し、こどもが主役の物語となるように・・・）

##### ② 今こそ特別活動を表舞台に

ア居心地のよい集団こそが学びをつくる場  
イ話し合うこと、やってみること

- ・異なる他者と生きるとは「自分にもよく、他者にもよい」ことを探ること。
- ・そのように思考する態度を育てることが大切。
- ・話し合いで態度を育て、決定したことを大切に



##### ③ 文部科学省も今こそ特別活動

「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動」（教員向けリーフレット）の活用

##### ④ 学級会の進め方（問題発見→議題の選定→活動計画の作成→問題の意識化）

#### (2) 部員の取り組みから（部員の声から）

##### ① 資料としていただいた「話し合いマニュアル」を基に、自学級化して取り組み、試行錯誤しながらよりよい形を探っている。取り組みを通して、学級会を形よく進めることが大事なのではなく、合意形成を図ったり、学級で合意したことをみんなで押し進めようとする態度を養ったりしていくことが大事であり、教師が方向を見誤らないように注意する必要があると感じている。

##### ② 学級を担任していないので、経験年数の少ない職員に資料提供し、情報を伝達した。その職員は、前向きに受け入れ、早速活用したり、うまくいかない点を相談に来たりする姿が見られた。自分も相談に乗りながら、多くのことを学ぶことができた。

### 4 成果と課題

全体研修において実際の場面に生かすことができる具体的な指導や資料をいただいたことにより、主体的な取り組みが図られた。指導の在り方について、講演内容を抛り所にして、各自研修を深めることができた。研修を通して、特別活動の趣旨を理解し、指導の基礎・基本を抑えた上で積極的に取り組んでいくことの大切さを改めて感じた。

研修のもち方について、実際の指導場面を部員全員で参観した上で、論点整理の仕方や合意形成の仕方などについて協議したり、指導を受けたりすることにより、さらに研修を深めることができる。可能ならば、公開授業研究ができることが望ましいと考える。